

第6回高島市マキノ小学校開校準備協議会 会議録（要旨）

1 開催日時 令和7年7月29日（火）

開会 午後7時30分 閉会 午後8時30分

2 開催場所 高島市立マキノ中学校 2階被服室

3 会議次第

1.開会

2.準備協議会長あいさつ

3.今城市長あいさつ

4.新小学校の校名について

5.今城市長との意見交換

6.その他

・先進地視察研修の実施について

7.川島教育長あいさつ

8.閉会

4 出席委員 17名（欠席者6名）

5 事務局出席者

今城市長、川島教育長、饗庭教育総務部長、川原林教育指導部長、保木教育指導部次長、前田教育総務課長、保木学校教育課長、上原学事施設課長、古川学校教育課主監、古谷学事施設課参事、林教育総務課参事、本田学校教育課参事

6 会議を傍聴した者 4名

7 次第の経過 次のとおり

次第の経過

1.開会

事務局より、マキノ地区区長等連絡会の会長交代に伴い、西辻委員から木下委員に交代されたことが報告された。

また、資料１（１～３ページ）会議録（要旨）により、協議事項等が報告された。

2.会長あいさつ

3.今城市長あいさつ

4.新小学校の校名について

【説 明】 饗庭教育総務部長

資料２（４～７ページ）により説明。７月３日に尾中会長から川島教育長に新小学校に関する提言書が提出され、その後７月２２日に開催された高島市教育委員会第７回定例会において新小学校の校名を「マキノ小学校」とすることについて可決されたことが報告された。

5.今城市長との意見交換

はじめに、今城市長から新小学校に対する思いが委員に伝えられ、その後委員からも意見や思いが出された。

今城市長からは、

- ・全国から注目され、ここで学びたいと思ってもらえるような学校をつくりたい。そのためには、例えば、地元産木材をはじめとした木をふんだんに使用した校舎にしたい。
- ・躯体が鉄筋コンクリート造で屋根組みが木造という方法も考えられる。
- ・環境省の「エコスクール」といった制度を活用し、環境に配慮した建て方をすると補助金の対象になることもある。
- ・児童だけではなく地域の方々も本に触れ合えることが大事である。ハード面だけではなく学校司書などの人と合わせて考える必要がある。
- ・各学校における児童数の状況を考えると一刻も早く統合する必要があるという認識でいる。
- ・良い学校を建てることと、一刻も早く完成させることの両立は難しい課題であり、令和１０年４月に新校舎を完成させることはスケジュール的に非常に厳しい状況である。改めて具体的なスケジュールをお示ししたい。

といった思いが伝えられた。

委員の皆さまからは、

- ・明るい未来を持てる計画が進められるのはすごく良い事であるし、そういった思いを汲んでもらって良い方向に進めていただけてありがたい。
- ・中学校の横に小学校が出来るという話になった時に、高島学園のように小学校と中学校が隣接した小中一貫教育のような形態で小学校６年間と中学校３年間の９年間を連携した形でやっていただけるのはありがたい。
- ・現在、３小学校では、令和１０年４月の統合に向けてマラソン大会や修学旅行も合同で実

施している。教職員の共同研究では、子どもが新しい学校生活をスムーズにスタートできるように、教職員が統合を意識するように話している。

- ・前向きに学校の統合の話が進められているので安心している。こども園、小学校、中学校と滑らかな連携をとってもらいたい。
- ・私の気持ちからいうと、令和9年にも統合してほしいぐらいであるが、令和10年4月を目指して進んでいる協議会なので、そこで開校できるような姿を目指していきたい。今の6年生は令和10年4月には同じ敷地にある学校の最高学年となるということで、機運が盛り上がっている。スケジュールを調整していただきながらより良い学校の建設ができるとうありがたい。
- ・スケジュールが大事だと思うが、工事の一部が残っていてもいいのではないか。子どもたちが工事の様子を見るのも教育になる。
- ・もし工事完了が間に合わない場合、一旦既存の学校に入ることができて、その後新校舎に入る。そういった形がとれるのであれば来年でも再来年でも統合してもらいたい。
- ・新校舎建設のスケジュールを示してほしい。どういったことにどれだけの期間を要するのか、どこを縮められるのかといった議論もできない。

などという意見が出された。

6.その他

- ・**先進地視察研修の実施について** 夏休み期間に実施する予定であり、候補地は県内を中心に近隣の府県を検討中。参加者は、準備協議会長、副会長および各分会から数名を予定していることが報告された。

7.川島教育長あいさつ

8.閉会